

2020年1月10日

国土交通省中部地方整備局

局長 勢田 昌功 様

日本共産党・衆議院議員	本村 伸子
日本共産党尾張南地区委員会委員長	松崎 省三
日本共産党弥富市議会議員	三宮十五郎
日本共産党弥富市議会議員	那須 英二
日本共産党弥富市副委員長	板倉 克典

気候変動のもと災害激甚化に備え、尾張大橋の架け替え促進、河川堤防の強化、住民避難計画強化を求める申し入れ

災害から地域住民の生命と財産を守るご努力に敬意を表します。

さて、弥富市をふくむ愛知県南西部の海部地域はほとんどが海拔ゼロメートルであり、かつての伊勢湾台風で甚大な被害を受けました。それから60年の今日、さらに、南海トラフ巨大地震の発生が予測され、地球温暖化・気象非常事態のもとで台風や豪雨の頻発と被害の激甚化に住民の不安が高まっています。日本共産党弥富市委員会が昨年来実施している住民アンケートには、防災・減災の強い要望が寄せられています。

2004年度の貴局による木曾川下流の重要水防箇所位置図には、尾張大橋とその周辺堤防を「重要度A」の水防箇所としています。弥富市側の尾張大橋の路面高は標高5メートル、桁下高3・9メートルであり、高潮計画潮位4・52メートル、計画洪水水位5・25メートル、堤防計画高7・5メートルのいずれにも及んでおりません。また、川底に土砂が堆積し河川容量が減少しています。日本共産党愛知県委員会は2005年1月、貴局にたいし尾張大橋の早期架け替えを求めましたが、その後も架け替えへの目立った動きはありません。

しかし、南海トラフ巨大地震や地球温暖化で「スーパー台風」など災害の激甚化が予測されるもと、災害対策の遅延は許されず、そのレベルアップと迅速化が求められています。昨年5月に開催された中央防災会議と海拔ゼロメートル地帯の自治体首長による防災対策会議では、従来の避難態勢の抜本的な見直し・強化が報告されました。

つきましては、貴局にたいし下記の事項の実施を要望いたします。

記

- 1、 尾張大橋の架け替えを促進すること
- 2、 木曾川をはじめ河川の堤防のかさ上げなど水害防止対策を強化すること
- 3、 自治体による地域住民の避難施設・態勢の整備・拡充を支援すること